

英会話教室

弓削 月 19:30 ~ 弓削地域交流センター
 生名 月 11:00 ~ 3分団集会所
 岩城 木 20:00 ~ 岩城総合支所庁舎
 魚島 火 15:30 ~ 魚島開発総合センター

おづ やすじろう
小津 安二郎 の魅力

上島町へのALT配属メールを受信した時、すぐに日本地図で位置を調べ、尾道の近くと知りわくわくしました。尾道は小津安二郎の映画「東京物語」の舞台になっている町です。大学時代に日本映画の講座を取り、この作品に触れました。彼の映画はハイペースではないので、つまらないと思う人が多いかもしれませんが、私なりの彼の美点を説いていきたいと思っています。

小津安二郎は黒沢明と溝口健二と共に日本映画の三人名匠の一人です。黒沢明の映画は、1950年代初頭から国際映画祭等で数々の賞を受賞しました。小津安二郎の映画は、当初、外国人にとって

あまりにも「日本的」だと思われていたので、日本国外へは輸出されませんでした。しかし、その後国外輸出された「東京物語」はとても好評を博し、最良の映画の一つとされました。英国では、映画協会によって「映画監督ベスト映画」の部門で第一位になりました。この成功はなぜでしょうか？彼は独自の撮影スタイルを生み出し、カメラアングルやシーンのタイミングに細心の注意を払いました。「畳ショット」では、カメラが正座で座っている人の目線で撮影していて、観客はその場にいるような感じがします。「ピローショット」は景色とか廊下等、人のいない場所しか見せていません。ハリウッド

の映画は、監督が観客に言いたいことをはっきりと示しますが、彼の映画は観客に考えさせます。情報過多の時代、小津の作品のように、少し立ち止まって考える必要がありそうです。



今月の担当 ALT
 サンズデビス・フィン (岩城)

わたしの
上島旅

— 第26回 —

今月の旅人



尾藤 俊輔さんとその家族 弓削在住

今年の8月に家族で京都から上島町に移住してきました。京都では

不動産業・翻訳業・小売業を営む会社を経営していましたが、年々リモート業務やEC販売が収益の中心を占めるようになるなか、都市部で働き居を構える必要性を見出せなくなっていました。

「インターネットで全てがつながる時代こそ、もっと自然豊かな場所で、日々を丁寧に、かつ創造的に生き、人間らしい本質的な暮らしをしたい」という想いが強まり、移住先を探していたところ、空き家バンクをきっかけに弓削島と出会いました。

移住を決める前に島へは2度訪問しました。移住先選びでは、仕事・教育・住環境の3つを重視していましたが、弓削島はまさに理想的な環境であると実際に訪問して感じ

ました。その後はありがたいご縁でとんとん拍子に家の購入も進んだものの、コロナ禍で行き来が困難な状況となり、家の改装や引っ越しには想定よりも時間がかかってしまいました。そんな難しい状況でしたが、島の方々はいつ訪問しても温かく接して下さったこともあり、移住する日を心待ちにしていました。

現在は、妻と上弓削地区で小売店の開業準備を行っています。上島町オリジナル商品を開発したり、島暮らしの魅力を発信したり、イベントを開催したり、従来の小売店に捉われないさまざまな活動をしていきたいと思っています。これから島の色々な方々にお会いできるのを楽しみにしています。

お問い合わせ 0897-72-9277

上島町観光協会
 Kamijima Tourism Association

http://www.kamijima.info

双葉俳壇 一四三回句集

積善の山の天辺盆の月

吾が影の妻の影追う盆の月

蒸し暑さしばし忘る盆の月

眼裏に夫の笑顔や盆の月

英霊を出迎ふ瞳盆の月

思い出の数多に在りて盆の月

散歩する園児の笑顔稲の花

汀打つ波ひたひと盆の月

稲の花此々は奥能登千枚田

伊佐 幹男

田中 華丘

幸本 郁夫

山元 征子

美濃部 妃苗

森本 伸子

古林 幹枝

森本 和佳

田名後 簗雨



島おこし協力隊活動報告（公営塾）

「ゆめしま未来塾 生徒へ インタビュー」

こんにちは、ゆめしま未来塾の品川です。今回は、インタビュー形式で塾生の様子をお伝えしたいと思います。お話を聞かせてもらったのは、3年生の石橋未帆さん。



—今日はよろしくお願いします。普段塾では、どんなことをしていますか？

石：学校の授業の復習や宿題、時期によってはテスト勉強をしています。家だとどうしても集中できなかったりするので、塾で取り組んでいます。分からないところがあったら、先生に聞くし、休憩中は雑談もします。

—雑談から派生して、自分が好き

なもののプレゼンもしていましたよね。

石：好きなアニメや漫画の魅力を伝えるための機会ができたので、スライドを作成しました。自分なりに表現したつもりですが、上手に伝えるのが難しかったです。

—知らない人に興味を持ってもらうには工夫が要りますよね。そういえば、今年の3月には社会人の方にインタビューをしていましたね。

石：塾で開催された、愛媛新聞の記者の方によるインタビュー講座に参加しました。普段接することのない新聞記者の方の話を聞くことができ、新鮮でよい経験になりました。

—私が塾に赴任したところに、その仕事インタビューの記事を作成していましたね。石橋さん含めた塾生3人で試行錯誤していた様子を覚えています。

—最後に、聞いてほしいことに挙げてくれた、塾の先生の印象ですが、どうですか？

石：最初は、怖くて難しそうな人が

多いのかなと思ったのですが、実際は面白くて優しかったです！

—なるほど（笑）印象が変わったようで、良かったです！ご協力ありがとうございました。

1年生のころから継続して通塾中の石橋さんは、自分で決めたスケジュールでしっかり勉強できているイメージがあります。今後も、自分の将来に向かい邁進してくれることを我々は祈っております！

「ゆめしま未来塾ブログ更新中！」

<https://sites.google.com/view/yumeshima-miraijuku/home>



ゆめしま未来塾
 品川 温子

